実践企業に聞く
DXツール
活用法

ユーザー　浜松建設

導入ツール　タノモシカ（安心計画）

COMPANY DATA

所在地　長崎県諫早市
従業員数　36名
年間棟数　約30棟

「まずは遊べ」の精神でAIを活用 業務プロセスの革新と人材育成のスピードアップを実現

浜松建設
社長
濵松和夫 氏

浜松建設
営業部 住宅事業課
宮﨑由佳 氏

長崎県諫早市を拠点に、本物の「木の家づくり」と自然と調和した豊かな暮らしを提案し続ける浜松建設。同社では、いち早く生成AIの社内活用に取り組んできた。そんな同社が、安心計画の建築実務特化型生成AI「タノモシカ」を導入し、さらなる業務プロセスの革新と人材育成のスピードアップを実現している。

「レンダリング待ち」のストレスから解放 提案スピードは「2週間から最短3日」へ

浜松建設では、以前からChatGPTやGeminiなどの一般向け生成AIを個別に触り、社内でリテラシーを高めていた。しかし、それらのツールは建築実務に特化しておらず、業務へのシームレスな組み込みには限界を感じていたそうだ。また、社員間でプロンプトを作成するスキルにバラつきがあり、業務品質の均一化という課題を抱えていたという。そこで、「タノモシカ」の導入に踏み切ったという。

「安心計画さんの3D CAD『Walk in home』を使っていたので、連動できるという話を聞いて、これは便利だとすぐに導入を決めました」と濵松和夫社長は振り返る。

導入後、真っ先に劇的な効果が現れたのがプレゼン用パース画像の作成プロセスだ。従来、クオリティの高いCGパース画像を作成するには、専門のレンダリングソフトを使いこなす技術が必要なだけでなく、画像1枚を出力するのに15～30分もの時間を要していた。また、外部の会社に制作を依頼すると、時間とコストがかかってしまう。その結果、顧客に提案を行うまでの時間がかかってしまい、競合他社に後れをとることもあったという。

「以前はレンダリングに時間がかかりすぎて、それが大きなストレスでした。しかし『タノモシカ』を導入してからは、『Walk in home』で作成したパース画像を投げるだけで、光や影の質感、植栽の緑まで本物そっくりのフォトリアルな画像が、ものの1分ほどで出力される」（濵松社長）。

この表現力とスピードの向上により、以前はヒアリングから最初のプラン提案までに「最低でも2週間」必要だったが、今では「1週間以内、最短なら3日」で可能になった。

「誰が作っても一定の高品質なパース画像が出せるため、提案品質のバラつきや属人化がなくなりました。さらに社内で『この指示を出すと綺麗に仕上がる』といったプロンプトに関する知識を共有することで、組織全体のレベルが底上げされています」（濵松社長）。

さらに、浜松建設では、商談プロセスの効率化として、顧客との打ち合わせ音声を録音して「タノモシカ」でテキスト化する取り組みも始めている。

「以前は打ち合わせが終わった後、思い出すところから始めて手入力で議事録を作っていましたが、今は録音データを投げるだけで瞬時に叩き台の議事録が出来上がります。あとは型番などの細かい仕様の誤りを人の目でダブルチェックするだけ。言った・言わないのトラブル防止にも非常に役立っており、事務作業の時間は劇的に削減されました」（濵松社長）。

いつでも練習できる「ロープレ」で 新人営業の成長を加速

「タノモシカ」は、人材育成という面でも価値をもたらす。

浜松建設で営業を担当している宮﨑由佳さんは、前職で不動産業界の経験はあったものの、注文住宅などの「建築」に関する専門知識はほぼゼロの状態で営業を担当することになった。

「初めは、お客さまからどんな質問が飛んでくるかも分からず、不安だらけでした。そんな私の大きな支えになってくれたのが、『タノモシカ』の音声ロープレ機能です」と宮﨑さんは話す。この機能は、パソコンやスマホに向かって音声で話しかけると、AIが住宅購入を検討する顧客（ペルソナ）になりきって、驚くほど自然なリアルタイム対話を行ってくれるもの。「予算に不安がある20代夫婦」や「大手ハウスメーカーと比較している理論派の顧客」など、実務でよくあるシビアな設定が用意されている。

「先輩や上司にロープレの相手を頼むのは、皆さん忙しそうでどうしても気兼ねしてしまいます。でもAI相手なら24時間いつでも、自分が納得いくまで何度でも練習できます。さらに終了後は、AIが客観的な採点と具体的なアドバイスをフィードバックしてくれるので、自分の弱点が一目で分かります」（宮﨑さん）。

また、専門知識のインプットにも「文字チャット機能」を活用している。分からない建築用語を問いかければ、AIが即座にプロの視点から教えてくれる。「本当に今では『タノモシカ』は欠かすことができない相棒のような存在になっています」（宮﨑さん）。

AIを“頼もしい相棒”に

濵松社長は、社内でのAI導入の心得として「まずは遊べ」というシンプルなルールを掲げている。実際に、同社ではベテラン社員から新卒まで、年齢を問わず楽しんでAIを触り倒しているという。

「AIを使いこなせるかどうかは、技術の差ではなく『とっかかり』だけ。ただ、AIを相手に自分の思い通りの結果を引き出すには、自分が建築の基礎知識を持ち、会社の思想を理解した上で、いかに明確な言葉で指示を出すかがすべてです。つまり、AIを活用することは『言葉の勉強』そのものです。その一方、自社の住まいづくりに関する思想をしっかりと理解し、それを形にしていく作業は人間が担うべきだと考えています」（濵松社長）。

建築業界における人手不足と生産性向上が叫ばれる中、浜松建設では「タノモシカ」という“頼もしい相棒”とともに、AIと人間がそれぞれの強みを活かして共生する新たな工務店像を提示している。

本物の「木の家づくり」と自然と調和した豊かな暮らしを提案する浜松建設

1分程度で出力される「タノモシカ」で生成したフォトリアルなCGパース画像

人材育成のスピードアップに貢献する「音声ロープレ機能」

AIを工務店のための頼れるパートナーに

知識・スキル不要でAIをフル活用

注目のDXツール 2026

安心計画株式会社 タノモシカ

近年、ビジネスシーンにおいて生成 AI の活用は急速に当たり前のものとなりつつある。しかし、リソースが限られる中小工務店の現場において、AI 活用の壁があることも事実。安心計画の建築実務特化型 生成 AI「タノモシカ」は、知識やスキル不要で導入したその日から AI をフル活用し、頼れるパートナーにすることができるツールだ。

ChatGPT、Gemini、Claude‥‥。こうした AI を使いこなすことが、基礎的なビジネススキルになろうとしている。しかし、AI をビジネスに活用しようとすると、「どうやって使っていいか分からない」、「そもそもどの AI を活用すればいいか分からない」といった“壁”に直面することもある。

こうした AI の“壁”を打ち破るべく、住宅業界で 35 年以上の歴史を持ち、3D CAD ソフト「Walk in home」の販売・保守サポートで確かな実績を誇る安心計画が開発したのが、建築実務特化型 生成 AI プラットフォーム「タノモシカ」だ。

プロンプト不要　ワンアクションでAIを使いこなす

一般の生成 AI を使いこなすには、AI に対する詳細な指示文である「プロンプト」をユーザー自身が作り込まなければならない。タノモシカが革新的なのは、この複雑なプロンプトをすべて裏側に隠し、画面上に分かりやすい「ボタン（アイコン）制」として配置した点だ。

ユーザーが行うのは、やりたい実務のボタンを選び、必要な画像やデータをアップロードするだけ。難しいプロンプトをタイピングする必要は一切ない。

さらに、タノモシカの裏側では、代表的な生成 AI モデルである「ChatGPT」「Gemini」「Claude」が組み込まれており、実行するタスクに応じて最適な「頭脳」をシステムが自動で選定して処理を行う。つまり、「タノモシカ」を利用することで、それぞれのタスクに最適な生成 AI を自動で活用することができるわけだ。

「どの生成 AI を使えばいいか」、「どうプロンプトを書けばいいか」と悩む必要はない。

プレゼン力を劇的に変える無機質なCADパースを「一瞬で写真クオリティ」に

施主に間取りプランをプレゼンする際、3DCAD で作成したパース画像は重要な役割を果たす。しかし、従来の CAD パースはどこか無機質な感じになりがちで、「なんだか安っぽい」、「実際の生活イメージが湧かない」と言われてしまうこともあるのではないか。

タノモシカの「高画質化・フォトリアル化機能」は、こうした問題を AI の力で簡単に解決してしまう。CAD ソフトなどで作成したパース画像をアップロードし、「フォトリアル（外観）」や「フォトリアル（内観）」のボタンを押すだけで、一瞬にして光と影の陰影、植栽や外構の質感、室内の木目やファブリックにいたるまで、本物の写真と見分けがつかないレベルのパース画像を出力してくれる。

さらに、水彩画、パステル画、色鉛筆、鉛筆ラフなど、あえて「手書きの温かみ」を持たせた提案資料も作成可能。

「タノモシカ」は、テキストだけでなく画像や音声、ドキュメントを同時に理解する「マルチモーダル AI」の強みをフルに生かし、広報・販促業務も一気通貫でサポートする。Instagram 投稿の文章・ハッシュタグ自動生成をはじめ、イベントブログ記事の自動作成、見学会のチラシ作成などを手間なく簡単に行うことができる。

「音声ロープレ機能」で人材育成・スキルアップを効率化

「新人に営業の指導をしたいが、付きっきりでロープレ（ロールプレイング）の相手をしてあげる時間も人手もない」といった悩みを抱えている経営者も少なくないだろう。こうした教育の悩みを解決するのが、タノモシカの代表的な機能である「音声ロープレ（ロールプレイング）機能」。

画面上で、対話したい「お施主様（ペルソナ）」を選択するだけで、PC やスマホのスピーカーを通じて、本物の人間を相手にしているかのようなリアルなロープレを一人で開始できる。

営業マンが話しかけた内容に対し、施主役の AI が驚くほど自然かつリアルタイムに的確な返答や切り返しを行ってくる。会話が終了すると、AI から「よかった点」「改善点」「次へのアドバイス」が客観的なフィードバックとして出力される。

会話音声からプランを自動抽出

安心計画の「タノモシカ」を同社が誇る既存の住宅プラン検索システム「My Home Robo」と組み合わせることで、さらなる業務プロセスの自動化を可能にしている。

営業マンが施主との初回商談や電話対応時の音声をスマートフォンなどで録音し、その音声データを「タノモシカ」にアップロードすると、AI が自動で議事録を作成すると同時に、会話の中から「パントリーが欲しい」「サンルームを作りたい」「家事動線」といった施主の要望キーワードを自動抽出する。抽出された条件を自動で「My Home Robo」のプラン検索システムへと引き渡し、最適な間取りプランをマッチングして出力するという機能を備えている。

強固なセキュリティと挫折させない充実の電話サポート体制

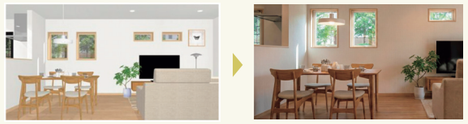
工務店が AI を導入する上で最も懸念するのが「情報漏洩」だ。無料版の ChatGPT などに顧客のプライベートな情報や図面データを入力してしまうと、そのデータが AI の学習素材として利用され、外部に漏洩するリスクがある。

その点、タノモシカは入力データが AI の学習に利用されない開発者向け API を経由した契約形態で運用されている。入力した顧客情報や図面が外部の AI 学習に使われることはなく、会社の公式ツールとして安全に全社導入できる。

さらに、IT ツールに不慣れな工務店にとって最大の安心材料となるのが、安心計画が提供する「電話サポート体制」だ。一般的な AI ツールは契約したら「あとはマニュアルを見て自分で使ってください」というものが多く、使いこなせず放置されてしまうケースが後を絶たない。しかし、安心計画には長年 CAD 運用サポートで培った強力なサポートインフラがある。

導入したその日からワンアクションで AI が頼れるパートナーになる「タノモシカ」。AI 時代に業務改革に向けた第一歩を踏み出す先導役としても活躍しそうだ。

画像編集　出力例《フォトリアル》



無機質な CAD パースを、ワンクリックでフォトリアル画像変換

サービス連携

Walk in home / My Home Robo ― タノモシカ

Walk in home データ連携	My Home Robo 連携
Walk in home で作成したプランデータをタノモシカに取り込み、パース加工や提案書作成へ展開。	AI プラン検索「My Home Robo」とも連携し、過去の膨大なプランから最適な間取りを提案。

既存の設計資産を無駄にせず、AI の力で価値を最大化

圧倒的なコストパフォーマンスと選べる料金プラン

タノモシカは工務店でも導入しやすい極めてリーズナブルな料金設計となっている。

スタータープラン：月額 10,000 円	パース生成：約 80 枚相当、または音声ロープレ（10 分）：約 10 回相当が定額内で利用可能。まずは手軽に AI を体験してみたい工務店に最適。
アドバンスプラン：月額 30,000 円	パース生成：約 320 枚相当、または音声ロープレ：約 40 回相当。複数スタッフでアクティブに業務に活用したい一般工務店向け。
アルティメットプラン：月額 50,000 円	パース生成：約 600 枚相当、または音声ロープレ：約 80 回相当。全社的に AI をインフラ化し、ヘビーユースするハウスメーカー向け。

さらに、安心計画の 3D CAD「Walk in home」の保守契約を結んでいるユーザーには、標準でタノモシカがセットになった特別なプランが用意されており、より圧倒的なコストパフォーマンスで利用することができる。

安心計画株式会社
TEL:092-475-1751　https://tanomoshika.com/

安心計画株式会社